

競技に愛を

記録に夢を

練習に心を

(鈴木 間多)

相模カンツリー倶楽部

## 〈Contents〉

- 平成26年度新役員紹介
- 平成26年度日本学生ゴルフ連盟&関東学生ゴルフ連盟主催・後援協議日程
- 加盟校便り ほか

DUNLOP

森田理香子

松山英樹

# 世界を、席卷せよ。

## 勝率No.1<sup>※</sup>、スリクソン Z-STARシリーズ。

日本の頂点の座を勝ち取った、抜群の飛距離とコントロール性能。挑みつづけるボールが、つぎは世界を舞台に旋風を巻き起こす。



横峯さくら



片山晋呉



藤本佳則



石川 遼



ケビン・スタドラー



キーガン・ブラドリー



グレイム・マクダウエル



Z-STAR

勝率No.1の  
「スピン」「やわらかさ」



Z-STAR XV

勝率No.1の  
「飛び」「スピン」



朴仁妃



吉田弓美子



金亨成

### 共に挑み、共に戦う。

# SRIXON®

※2013年国内男女ツアーにおいて、Z-STARシリーズを使用した選手による優勝率。

●株式会社ダンロップスポーツマーケティング 〒108-0075 東京都港区港南3-8-1 ●詳しくは<http://golf.dunlop.co.jp/>へ。●トーナメント等に関しては<http://golfpark.jp/>  
●商品のお問い合わせ 0120-65-3045 “あなたのゴルフをもっと楽しくする。”情報満載の会員サイト G-ATTEND (ジーアテンド) <http://www.g-attend.jp/>

SRIXON × 松山英樹  
スペシャルWebサイト

Facebook icon  
ゼクシオ (ダンロップ) 公式  
facebook ページ

Twitter icon  
XXIO/SRIXON/CG  
@DUNLOP\_JP

スポーツといっしょに生きる  
ダンロップスポーツ

## 《目次》

○委員長からのメッセージ	
「学生ゴルファーとして」 中川裕貴（早稲田大学）	2
○平成 26 年度関東学生ゴルフ連盟役員の抱負	3
○平成 26 年度関東学生ゴルフ連盟役員一覧	4
○平成 26 年度春季男女ブロック別ランキング	7
○平成 26 年度日本学生ゴルフ連盟／関東学生ゴルフ連盟主催・後援競技日程	8 - 9
○2013 年度 JGA アカデミック・ゴルフ・アワード受賞結果及び受賞作文	10 - 11
○関東学生ゴルフ連盟・服装規定	12 - 13
○規約・競技規定の補足	14 - 15
○平成 26 年度 関東学生ゴルフ連盟・競技シード方法	16 - 17
○加盟校便り「日本大学の優勝祝賀会」「法政大学の新年会」	18
○編集後記	19
○広報局からのお知らせとお願い	20

## 《相模カンツリー倶楽部の沿革》（文中敬称略）



相模 CC は昭和 6 年の開場で、名ゴルファー赤星六郎が設計した戦前派の名コースである。これまでに多くのアマ、プロの競技がここで開かれ、会員の中から歴史に名をとどめるチャンピオンが育っているが、学生ゴルフにご縁の深い方も多い。かつて日本学生ゴルフ連盟の会長だった近衛通隆、同名誉会長の松本富夫、戦後、学生ゴルフの復活に貢献した金田武明、明治大で活躍した久保田瑞穂らはこ

ここでゴルフを学び、そして育った。プロには棚網平がいる。日本プロ選手権のチャンピオン（開催コース～大洗 GC）になっている。

こうした名手が育つ背景には、赤星六郎が手塩にかけて育てたいいコースがあったからだろう。赤星さんは『富士山の裾に広がるリンクス』をイメージして設計したと伝えられる。コースは平坦で、うねりもある。眺望できる丹沢にそのまま通じるような印象を受ける。赤星設計でシーサイド風な風情のある相模に対し、対象的なのは我孫子 GC（ここの赤星六郎の設計）だ。インランドのコースのイメージがある。同一の設計家が手がけたコースだが、実に好対照だ、という声もある。

ここは終戦直後、日本を占領した米軍に接収されることになっていたが、接収直前にハウスが火災で焼失した。このため接収を免れたという歴史があり、戦後の日本の女子のゴルフは、ここからは始まっている。接収を免れたお蔭だろう。

最寄りの駅（小田急、田園都市線の中央林間駅）から歩いて行けるゴルフ場として便利さこの上もないのが特徴だ。それ故に、日曜日などは会員たちで遅くまで賑わう。創設されて 83 年が経った。会員たちが育んできたゴルフを愛し、会員相互交流、倶楽部愛の精神が旺盛な倶楽部の伝統が脈打っている。《写真は相模 CC 提供》

## 学生ゴルファーとして



関東学生ゴルフ連盟  
平成26年度委員長

中川 裕貴 (早稲田大学)

私はこの度、関東学生ゴルフ連盟の委員長を務めさせていただきます。新しいシーズンを迎えるに当たり、連盟に加盟している各校並びに加盟員各位にお願いがあります。ぜひ、本欄をお目通しの上、連盟の活動に対してご理解とご協力をお願いいたします。

わが関東学生ゴルフ連盟は、創設以来80年の歴史を重ねました。ゴルフの競技団体としては日本ゴルフ協会、関西ゴルフ連盟に次ぐ3番目に古い競技団体であり、現在の加盟校は70を超え連盟加盟者も1,000人に上りました。昨年は男女合わせ45試合行われ、第67回日本学生ゴルフ選手権競技(加古川GC)、村山駿君(東北福祉大)の最終日大逆転劇や、國學院大学がみごとなチームワークを見せ優勝した秋季関東大学対抗チャレンジカップ(CPGCC)など数々の熱戦が繰り広げられました。

また、昨年の日本アマチュアゴルフ選手権(東京GC)は大堀裕次郎君(大阪学院大)と杉山知靖君(中央学院大)による学生同士の優勝争いになり、話題となりました。学生ゴルフがアマチュアゴルフ界を支えているといっても過言ではないと思います。

しかし、その半面スロープレーの蔓延やゴルフ場でのマナー違反などを指摘されることもあります。学生ゴルファーがゴルフ界をこれからも支えていくためには、ゴルファーの基本であるエチケット・マナーというものに対して志を高く持っていかなければならないと思います。コースの埋土・グリーンの修復等をはじめとし、浴室や洗面所、レストランの使い方など、ゴルフ技術とともに人間性も高めていかなければなりません。

一人のゴルファーとして、一人の人間として互いに切磋琢磨できる環境を推進していきたいと考えています。加盟各位ご協力のほどよろしくをお願いいたします。皆でアマチュアゴルフ界を引っ張っていきましょう。

## 平成 26 年度 関東学生ゴルフ連盟役員の抱負



## 学生ゴルファーとしてのルールの理解を

関東学生ゴルフ連盟  
平成26年度競技委員長

奥田 哲央 (法政大学)

私は平成26年度、日本学生ゴルフ連盟及び関東学生ゴルフ連盟、競技委員長を務めさせていただきます。法政大学の奥田哲央と申します。

さて2020年、東京オリンピック・パラリンピック開催が決まり、霞ヶ関カンツリー倶楽部にてゴルフ競技が行われる事を想像すると今から期待に胸が膨らむばかりであります。

近年、同世代プロゴルファーの影響などからジュニアゴルファーは増加傾向にあり、日本ゴルフ界は明るい様に感じられます。ですが、その一方でプレー時間などのマナーに関して、学生連盟OB・OGの方々、ゴルフ場関係者様からご助言を頂く機会が多くあります。

大会を運営する側である我々としては非常に考えさせられる問題です。「運営側がより規制を厳しくしプレーファストを促せば良い。」というご意見を頂く事もありますが、私はそれでは問題の解決にはならないと考えます。

大会に選手として参加頂く皆様一人一人のマナー・エチケットへの理解が、問題解決への道だと考えるからです。また服装規定についてもわかりです。我々が規制するだけでは無く、なぜあのシャツがダメなのか、なぜあのズボンがダメなのかを選手自身がもう一度考え直して頂ければ、必ずご理解頂けると信じております。

今の学生ゴルファーには、そうした諸先輩方が築いてきた「学生ゴルファーとしてのルール」が、何の為に存在するのかを理解して頂きたいと思えます。そうすれば、自ずとマナーやエチケットはついてくると信じているからです。

運営も含め、良いシーズンに出来るか不安は否めません。ですが、役員一同協力し合い、必ず良いシーズンに出来るように努力して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

また、OB役員各位にもご指導賜りたく、誌面を借りてお願い致します。



## 定型からの脱却

関東学生ゴルフ連盟  
平成26年度広報局長

森田 健斗 (慶応義塾大学)

本年度関東学生ゴルフ連盟および日本学生ゴルフ連盟の広報局長を務めさせていただき森田健斗です。

昨年度も広報局次長として広報局の仕事をさせていただきながら、学生からの本誌の読者率が低くとも残念でした。そこで、本年度は学生の皆さんが本誌を一人でも多く読んでいただくために、文章を読みやすくしたり、内容を

面白くしていくことに努力させていただきます。

今まで前例のない新しい取り組みであり、私も何を変えるのが一番いいかわからない状況なので、気づいた事や、やってほしいこと、感想などがございましたら info@ksga.jp の方までお願いします。

では、本年度一年間宜しくお願いします。

平成26年度 関東学生ゴルフ連盟役員



委員長

中川 裕貴  
Yuuki Nakagawa  
(早稲田大学)



副委員長・事業局長

笹川 椋平  
Ryohei Sasagawa  
(中央学院大学)



競技委員長・渉外局長

奥田 哲央  
Tetsuo Okuda  
(法政大学)



副競技委員長

桜井 龍之介  
Ryunosuke Sakurai  
(早稲田大学)



事務局長

高木 理沙  
Risa Takagi  
(立教大学)



事務局次長

宮島 麻有  
Mayu Miyajima  
(慶応義塾大学)



会計局長・総務局長

大隈 耀代  
Akiyo Okuma  
(東洋英和女学院大学)



会計局次長  
総務局次長

小林 千夏  
Chinatsu Kobayashi  
(成城大学)



渉外局次長

武田 有稀  
Yuuki Takeda  
(早稲田大学)



広報局長

森田 健斗  
Kento Morita  
(慶應義塾大学)



広報局次長

渥美 諒  
Ryo Atsumi  
(慶応義塾大学)



事業局長

平山 裕大  
Yuudai Hirayama  
(学習院大学)



事業局長  
(文部科学大臣杯)

大河 駿介  
Shunsuke Okawa  
(神奈川大学)

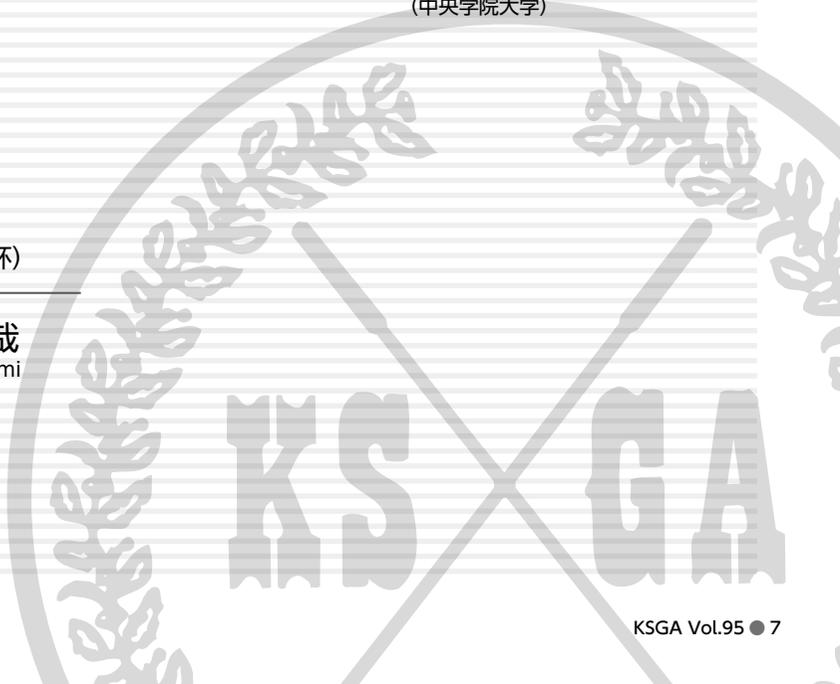
事業局次長  
(朝日杯・信夫杯)

千葉 洸平  
Kouhei Chiba  
(中央学院大学)



事務局次長  
(文部科学大臣杯)

谷ノ上 雄哉  
Yuuya Taninogami  
(学習院大学)



## 平成26年度 日本学生ゴルフ連盟役員

学生役員			
役職	名前	大学名	地区
委員長	中川 裕貴	早稲田大学	関東
副委員長	上口 祥平	小樽商科大学	北海道
副委員長	笹川 椋平	中央学院大学	関東
副委員長	内田 真央	愛知大学	中部
副委員長	松尾 鉄平	大阪学院大学	関西
副委員長	大土 秀隆	広島修道大学	中四国
副委員長	尾上 健	福岡大学	九州
競技委員長	奥田 哲央	法政大学	関東
副競技委員長	本田 大輔	北海道大学	北海道
副競技委員長	福岡 樹	愛知工業大学	中部
副競技委員長	出光 祐大	甲南大学	関西
副競技委員長	森山 拓磨	山口福祉文化大学	中四国
副競技委員長	鶴山 孝太	福岡大学	九州
事務局長	高木 理沙	立教大学	関東
会計局長	大隈 耀代	東洋英和女学院大学	関東
渉外局長	奥田 哲央	法政大学	関東
広報局長	森田 健斗	慶應義塾大学	関東
事業局長	平山 裕大	学習院大学	関東
事業局長 (朝日杯・信夫杯)	笹川 椋平	中央学院大学	関東
事業局長 (文部科学大臣杯)	大河 駿介	神奈川	関東

理事		
役職	名前	地区
名誉会長	松本 富夫	関東
会長	中島 敬夫	関東
副会長	横山 清	北海道
副会長	菅 真知	関東
副会長	安井 信之	中部
副会長	塩谷 眞治	関西
副会長	亀井 郁夫	中四国
副会長	麻生 太郎	九州
常任理事	杉浦 則男	北海道
常任理事	石井 宏幸	関東
常任理事	阿部 靖彦	関東
常任理事	田口 豊太郎	中部
常任理事	野村 惇	関西
常任理事	阪田 守司	関西
常任理事	山本 敬二	中四国
常任理事	高木 洋	九州
理事	河村 洋行	北海道
理事	勝又 正浩	関東
理事	堀切 茂友	関東
理事	森岡 繁幸	関東
理事	泉 憲一	中部
理事	十代田 光俊	中部
理事	古賀 秀策	九州

## 平成26年度 関東学生ゴルフ連盟役員

学生役員		
役職	名前	大学名
委員長	中川 裕貴	早稲田
副委員長	笹川 椋平	中央学院
競技委員長	奥田 哲央	法政
副競技委員長	桜井 龍之介	神奈川
事務局長	高木 理沙	立教
事務局次長	宮島 麻有	慶應義塾
会計局長・総務局長	大隈 耀代	東洋英和女学院
会計局次長・総務局次長	小林 千夏	成城
渉外局長	奥田 哲央	法政
広報局長	森田 健斗	慶應義塾
広報局次長	渥美 諒	慶應義塾
事業局長	平山 裕大	学習院
事業局長 (朝日杯・信夫杯)	笹川 椋平	中央学院
事業局次長 (朝日杯・信夫杯)	栗林 大貴	中央学院
事業局長 (文部科学大臣杯)	大河 駿介	神奈川
事業局次長 (文部科学大臣杯)	谷ノ上 雄哉	学習院
常任委員	中井 陸	慶應義塾
常任委員	矢野 年峻哉	神奈川
常任委員	小川 広佑	明治
常任委員	鈴木 宏和	早稲田
常任委員	川村 一透	早稲田

理事		
役職	名前	大学名
名誉会長	松本 富夫	慶應義塾
会長	中島 敬夫	立教
副会長	菅 真知	立教
副会長	石井 宏幸	学習院
専任理事	阿部 靖彦	東北福祉
常任理事	堀切 茂友	早稲田
常任理事	森岡 繁幸	成城
理事	山野井 秀男	明治
理事	角田 茂	日本女子
理事	勝又 正浩	慶應義塾
理事	嶋谷 誠司	神奈川
理事	木下 幸一	慶應義塾
理事	久保田 恵造	法政
理事	黒須 一雄	中央
理事	山口 高	立教
理事	土屋 圭吾	早稲田
理事	小林 みさ子	聖心
監事	岸 猛弘	早稲田
監事	橋本 邦夫	東京

《男子》

A ブロック

- 1位 東北福祉大学
- 2位 日本大学
- 3位 中央学院大学
- 4位 専修大学
- 5位 早稲田大学
- 6位 法政大学

B ブロック

- 1位 明治大学
- 2位 駒澤大学
- 3位 日本体育大学
- 4位 中央大学
- 5位 神奈川大学
- 6位 東京国際大学

C ブロック

- 1位 富士大学
- 2位 東海大学
- 3位 立教大学
- 4位 東北学院大学
- 5位 山梨学院大学
- 6位 城西大学
- 7位 学習院大学
- 8位 上智大学

D ブロック

- 1位 拓殖大学
- 2位 慶應義塾大学
- 3位 青山学院大学
- 4位 成城大学
- 5位 東京大学
- 6位 帝京大学
- 7位 成蹊大学
- 8位 東京経済大学

E ブロック

- 1位 玉川大学
- 2位 東日本国際大学
- 3位 横浜国立大学
- 4位 明星大学
- 5位 東北大学
- 6位 明治学院大学
- 7位 新潟大学
- 8位 芝浦工業大学

F ブロック

- 1位 横浜商科大学
- 2位 筑波大学
- 3位 一橋大学
- 4位 桜美林大学
- 5位 東京農業大学
- 6位 大東文化大学
- 7位 國學院大学
- 8位 獨協大学

《女子》

A ブロック

- 1位 東北福祉大学
- 2位 専修大学
- 3位 日本大学
- 4位 明治大学
- 5位 中央学院大学
- 6位 早稲田大学

B ブロック

- 1位 法政大学
- 2位 駒澤大学
- 3位 日本体育大学
- 4位 慶應義塾大学
- 5位 聖心女子大学
- 6位 東洋英和女学院大学

C ブロック

- 1位 学習院大学
- 2位 上智大学
- 3位 富士大学
- 4位 青山学院大学
- 5位 大妻女子大学
- 6位 立教大学

D ブロック

- 1位 東北学院大学
- 2位 成城大学
- 3位 東京大学
- 4位 日本女子大学
- 5位 玉川大学
- 6位 成蹊大学
- 7位 獨協大学
- 8位 東海大学

【男子】

平成26年2月17日現在

競技会名称	試合日	開催コース	エントリー締切日	指定練習日
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子4月月例会	4/25 (金)	フレンドシップカントリークラブ	4/11 (金)	4/24 (木)
平成26年度関東大学春季Aブロックリーグ戦	5/1 (木) ～5/5 (月)	東京ゴルフ倶楽部	4/17 (木)	
平成26年度関東大学春季E・Fブロック対抗戦	5/8 (木) ～5/9 (金)	富士カントリークラブ	4/24 (木)	5/7 (水)
平成26年度関東大学春季B・C・Dブロック対抗戦	5/20 (火) ～5/21 (水)	万木城カントリークラブ	5/1 (水)	5/19 (月)
平成26年度春季関東大学対抗チャレンジカップ	5/28 (水)	フレンドシップカントリークラブ	5/14 (水)	5/27 (火)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子6月月例会	6/11 (水)	一の宮カントリー倶楽部	5/28 (水)	6/10 (火)
第51回全国大学ゴルフ対抗戦	6/17 (火) ～6/18 (水)	小樽カントリー倶楽部	6/3 (火) 関西を除く	6/16 (月)
第62回関東学生ゴルフ選手権予選会(第1会場)	6/24 (火) ～6/25 (水)	ウッドストックカントリークラブ	6/10 (火)	6/23 (月)
第62回関東学生ゴルフ選手権予選会(第2会場)	6/26 (木) ～6/27 (金)	スプリングフィールズゴルフクラブ	6/12 (木)	6/25 (水)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子7月月例会	7/3 (木)	万木城カントリークラブ	6/19 (木)	7/2 (水)
第62回関東学生ゴルフ選手権	8/5 (火) ～8/8 (金)	鷹の台カンツリー倶楽部	7/22 (火)	未定
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子8月月例会	8/27 (水)	フレンドシップカントリークラブ	8/13 (水)	8/26 (火)
2014年度(第68回)日本学生ゴルフ選手権競技	8/26 (火) ～8/29 (金)	スプリングフィールドゴルフクラブ(岐阜)	8/15 (金)*	
平成26年度関東大学秋季C・Dブロック対抗戦	9/3 (水) ～9/4 (木)	東京ゴルフ倶楽部	8/19 (水)	9/2 (火)
平成26年度関東大学秋季A・Bブロック対抗戦	9/18 (木) ～9/19 (金)	こだまゴルフクラブ	9/4 (木)	9/17 (水)
平成26年度関東大学秋季E・Fブロック対抗戦	9/25 (木) ～9/26 (金)	軽井沢72ゴルフ西コース	9/11 (木)	9/24 (水)
第61回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権関東地区予選会	9/30 (火) ～10/1 (水)	軽井沢72ゴルフ入山コース・押立コース	9/16 (火)	9/29 (月)
平成26年度秋季関東大学対抗チャレンジカップ	10/16 (木)	一の宮カントリー倶楽部	10/2 (木)	10/15 (水)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子10月月例会	10/21 (火)	一の宮カントリー倶楽部	10/7 (火)	10/20 (月)
第61回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権	10/28 (火) ～10/29 (水)	こだまゴルフクラブ	10/15 (火)	10/27 (月)
第58回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	10/30 (木) ～10/31 (金)	こだまゴルフクラブ	10/15 (火)	10/29 (水)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会	11/14 (金)	一の宮カントリー倶楽部	10/31 (金)	11/13 (木)
文部科学大臣杯争奪第7回全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦	11/23 (日・祝) ～11/24 (月)	未定		11/22 (土)
第52回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権	12/2 (火)	我孫子ゴルフ倶楽部	11/18 (火)	12/1 (月)

※ 競技日程、競技会場は変更する場合があります。変更があった場合にはその都度ご連絡いたします。

\* 印のエントリー期日は昨年度参考

# 後援競技日程

## 【女子】

平成26年2月17日現在

競技会名称	試合日	開催コース	エントリー締切日	指定練習日
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子4月月例会	4/25 (金)	フレンドシップカントリークラブ	4/11 (金)	4/24 (木)
平成26年度春季関東女子大学対抗 チャレンジカップ	5/28 (水)	フレンドシップカントリークラブ	5/14 (水)	5/27 (火)
平成26年度関東女子大学春季 A・B・C・Dブロック対抗戦	6/4 (水) ～6/5 (木)	フレンドシップカントリークラブ	5/21 (水)	6/3 (火)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子6月月例会	6/11 (水)	一の宮カントリー倶楽部	5/28 (水)	6/10 (火)
第37回全国女子大学ゴルフ対抗戦	6/17 (火) ～6/18 (水)	小樽カントリー倶楽部	6/3 (火) 関東は9 (月)	6/16 (月)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子7月月例会	7/3 (木)	万木城カントリークラブ	6/19 (木)	7/2 (水)
第52回関東女子学生ゴルフ選手権予選会	7/10 (木)	一の宮カントリー倶楽部	6/26 (木)	7/9 (水)
第52回関東女子学生ゴルフ選手権	8/5 (火) ～8/7 (木)	日高カントリー倶楽部	7/22 (火)	8/4 (月)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子8月月例会	8/27 (水)	フレンドシップカントリークラブ	8/13 (水)	8/26 (火)
2014年度(第51回)日本女子学生 ゴルフ選手権競技	8/27 (水) ～8/29 (金)	スプリングフィールドゴルフクラブ (岐阜)	8/15 (金)*	
平成26年度関東女子大学秋季 A・B・C・Dブロック対抗戦	9/10 (水) ～9/11 (木)	富士カントリークラブ	8/27 (水)	9/9 (火)
第17回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ 選手権関東地区予選会	9/30 (火)	軽井沢72ゴルフ南コース	9/16 (火)	9/29 (月)
平成26年度秋季関東女子大学対抗 チャレンジカップ	10/16 (木)	一の宮カントリー倶楽部	10/2 (木)	10/15 (水)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子10月月例会	10/21 (火)	一の宮カントリー倶楽部	10/7 (火)	10/20 (月)
第17回朝日杯争奪日本女子学生 ゴルフ選手権	10/28 (火) ～10/29 (水)	こだまゴルフクラブ	10/15 (火)	10/27 (月)
第15回信夫杯争奪日本女子大学 ゴルフ対抗戦	10/30 (木) ～10/31 (金)	こだまゴルフクラブ	10/15 (火)	10/29 (水)
平成26年度関東学生ゴルフ連盟 女子11月月例会	11/14 (金)	一の宮カントリー倶楽部	10/31 (金)	11/13 (木)
文部科学大臣杯争奪第7回全日本大学 ・高等学校ゴルフ対抗戦	11/23 (日・祝) ～11/24 (月)	未定		11/22 (土)
第50回会長杯争奪関東女子学生 ゴルフ選手権	12/2 (火)	我孫子ゴルフ倶楽部	11/18 (火)	12/1 (月)

※ 競技日程、競技会場は変更する場合があります。変更があった場合にはその都度ご連絡いたします。

\*印のエントリー期日は昨年度参考

# 2013年度 JGA アカデミック・ゴルフ・アワード

大学の部は大堀裕次郎君（大阪学院大4年生）に最優秀賞  
関東勢から佐藤絵美さん（東北福祉大4年生）、佐藤千紘さん（明治大学4年生）  
梅山知宏君（東北福祉大4年生）が受賞

日本ゴルフ協会が主催する2013年度JGAアカデミック・ゴルフ・アワードの表彰式が  
3月17日、東京・京橋に日本ゴルフ協会事務局に安西孝之・JGA会長ほか関係役員を始め最優秀賞に選ばれた  
大堀裕次郎君（大阪学院大学4年生）以下、今年度の優秀作品として表彰を受ける大学の部5人と  
高校生の部で受賞する5※人、計10人の皆さんが出席して行われた。

今年度の大学の部では大堀裕次郎君（大阪学院大学）が最優秀賞に選ばれた。

大堀君は昨年度の日本アマ選手権（東京GC）は優勝している。

優秀賞には坂下莉（リ）翔子（かこ）さん（同志社大学）が選ばれた。坂下さんは日本女子選手権の優勝者だった。

関東勢から佐藤絵美さん（東北福祉大）が優秀賞に選ばれ、

梅山知宏君（東北福祉大学）と佐藤千紘さん（明治大学）がそれぞれ奨励賞を受けた。

それぞれの優秀作品に対してはJGAから記念の盾が贈られた。

JGAのアカデミック・ゴルフ・アワードは高校生、大学生の中から日本の将来のゴルフ界を背負う  
若いゴルファーを育てるのを目的に、彼らに作文を応募してもらい、書審査の結果、優秀と認められた若者を  
表彰する制度で、毎年度末に『ゴルフと私』というテーマで作文を書いてもらっている。



最優秀作品

## 大堀 裕次郎

大阪学院大学四年次生

私がゴルフと出会ったのは小学三年生の時でした。兄や姉が坂田塾でゴルフを習っているのを見て、自分もゴルフがしたいと思い坂田塾に入塾したことがきっかけでした。でも始めは毎日の練習が辛くて、あまりゴルフを楽しむことができませんでした。しかし、辛いながらも兄姉と一緒に毎日の練習を積み重ねていくうちに段々と技術が向上していき、いつの間にか私はゴルフというスポーツに夢中になっていきました。そして中学生になり、いろいろな大会に出場する機会が増え、ゴルフを通じて数多くの友人にも恵まれ、切磋琢磨することによりゴルフの成績も段々と良くなっていきました。大阪学院大学高等学校に入学し、初めてクラブ活動というものを経験しました。中学生までは個人で活動していたため、自分のことだけを考えてゴルフをしていたのですが、団体戦などを戦うことによりチームワークの大切さなども学べ、また三年生の時には主将にも選んでいただきゴルフ以外の面でも成長することができたと思います。

高校卒業後は、大阪学院大学に進学しました。大学ではクラブでの団体行動もありますが、毎日のスケジュールを自分でしっかり計画していかないとダメだと考え行動しましたが、はじめの一年間はなかなか計画したことが実行できずにゴルフの成績も良い結果を残すことができませんでした。そして、試行錯誤をしながら考えていくうちに大学2年生と3年生の2年もの間に長いスランプを経験しました。クラブを振ることが怖くなり、体も思うように動かなくな

りました。ゴルフをするということが本当に嫌になりこのままやめたいと思うようにもなりました。それでも大学の先生方をはじめとして周りの方々のサポートのおかげで何とかゴルフを続けていくことができました。

大学3年生の秋にプロシニアツアーの試合で湯原信光プロのキャディーをさせていただく機会を作っていただき、その後に湯原プロからもゴルフを学ぶようになりました。それからゴルフに対する考え方や取り組む姿勢などが今までの私と比べて本当に変わりました。

自分を見つめ直し、感謝の気持ちを持ちながらゴルフをしていくうちに、ゴルフをすることがすごく楽しくなりスランプを克服することができました。そして、大学4年生になった今年の関西アマチュアゴルフ選手権、日本アマチュアゴルフ選手権に優勝することができました。それによりプロツアーの試合に出場させていただく機会をいただき、私は本当にプロの世界で戦いたいというのを強く思うようになりました。

私の最終目標は「マスターズで優勝する」ことですが、まずは日本のプロゴルフ界でトップになるということを当面の目標に置き、誰からも応援していただい、ジュニアゴルファーの目標となるプロゴルファーになれるよう努力を続けたいと思います。そして今まで苦しいときや大変な時に支えてくれた両親にいつの日か恩返しできればと思います。



優秀作品

## 佐藤 絵美

東北福祉大学

15歳の春、地元栃木を離れ東北高校に進学しました。まだ冬の名残が消えない仙台に、真新しい制服に袖を通し、期待と不安を胸に抱きながら、校門をくぐったのを思い出します。

高校時代を振り返ると、3年間のうち半分以上は、友人、先輩、後輩といった、周りの人たちの活躍をただじっと見ているだけでした。活躍している人を背に、「いつか自分も」という気持ちが膨らむだけで、成績は今一つ。思うような結果が残せないまま刻々と時間は過ぎていきました。焦りからなのか、周りの期待に応えられないことに対し、過剰に意識するようになっていました。それが自分自身への重圧になっていたのかもしれない。

そのしがらみから解放してくれたのは、顧問の先生の言葉でした。きっかけを得たことで、改めてゴルフに対して正面から向き合えたのが、その後のゴルフ人生の原動力になったと今でも感じています。また、言葉には人を動かす力があることを痛感し、より一層、周りの意見や人の言葉を大切にするようになりました。着実に試合で結果を残せるようになった時、心境にも変化があり、いつか私も「憧れられる選手」になりたいと思うようになりました。そして更なる高みを目指すべく東北福祉大学に進学するのです。

大学では、ゴルフを通じて様々な人と交流する機会が増え、人の支えがいかに大切かを、改めて学ぶことができました。なかでも団体戦の試合は、仲間同士支えながら仲間との絆を実感することができます。喜びを共感できる仲間がいることは、このうえない幸せ

だと感じていました。また、女子ゴルフ部の主将を務めた1年間は、これまで以上に責任感を強く持つようになりました。初めての主将とあって、部をまとめていけるかという不安もあり模索する日々でしたが、そこで支えてくれたのも仲間でした。

一人ではできなかったことも、人の支えがあったから、最後までやり遂げることができたのだと痛感しています。主将を務めてから、人間としても大きく成長することができました。貴重な経験ができたことに、とても感謝しています。

そしてこの春、私は大学を卒業します。それは、7年間慣れ親しんだ仙台とも別れを告げるものです。

父の影響で4歳からゴルフを始め、高校までは部活動という中でゴルフをしたことがなかった私は、仲間とゴルフをしたいという憧れを抱いていました。高校、大学とレベルの高い環境で揉まれてゴルフができることに、今でも喜びを感じています。何不自由なくゴルフができること、またそのような機会を与えてくれた両親、監督、コーチ、そして携わってくれた方々に感謝しています。当たり前前の生活が送れることに、感謝の心を忘れることはありません。

大学生活で培ったものを糧に、ゴルフの楽しさやできる喜びを、多くの人に「与える選手」を目指して精進していきたい思います。そのためには、人間性の向上を目指し、これまで以上の努力を重ね、今後もゴルフと共に成長しながら、一步一步進んでいきたいと思えます。



奨励賞

## 佐藤 千紘

明治大学四年



キラキラと輝く大学生活への思いは一転して文武両道の厳しさを知ることになる。

文武両道という言葉聞く度に「武が長けている人には文武両道というが、文の長けている人には武を求めないのはなぜか」と疑問に思ってきた。しかし幾度となくその厳しさの中でもがきながら、この言葉を達成出来たら人間性を磨き大きな自信を得るチャンスなのだ。

私はチャンスに挑む機会を得たのだと思考を変えた。

「大学生」という括りがある以上まだ学ぶべきことがあるのでは？大学進学を選択した理由だ。それがどのような形でゴルフに影響してくるのかわからなかったが、無駄にはしない、という強い信念で大学生活をスタートさせた。ゴルフの世界しか知らなかった私には、他のスポーツに関わっている友人、またスポーツとは無縁の友人などすべての人との出会いが新鮮であり、色々なことを学ぶと同時に、自身の未熟さも自覚することができた。試合後悔し涙をぬぐいながらも授業のためにユニフォーム姿で学校に直行したことも度々ある。

試合の結果を授業中に祈りながら速報で見ている、教室に入る私を拍手で迎えてくれた先生や友人たち。ゴルフとは無縁の人達が応援してくれている姿を見る度に、まだまだやれる。次こそはもっと上を、と決意してきた。私が毎年目標を決め達成することが出来るのは、私が頑張ったという理由だけではなく部活の仲間・友達を始

めとする周囲の人たちが同じ思いで戦い、環境を作ってくれたため、決して一人で挑んでこられるものではなかった。

数ある大学の中で明治大学を選んだのは、すでに完成度の高いゴルフ部ではなく、未熟な部で組織作りからマネジメントをしてみたいという理由からである。入学時には「私が4年間で全国レベルの部活にして見せます」と公言した。もちろんその道は険しいもので意識改革から取り組みを始め、厳しい言葉で叱咤しながらも後輩から先輩へと立場が変わる頃には少しずつ手ごたえが感じられた。変化をしたのは部活だけではなく、私自身の物事の考え方やゴルフプレーにも大きく影響を与えており、気付くと成長を実感できるまでになっていた。

「体育会」という言葉を聞くと、高いレベルの人しか在籍できないイメージがあるが、それは違うと思う。技術面での向上は必要だが「大人の社会に入るための準備をスポーツを通じて学ぶ場所」と私自身は思っている。部員全員が卒業までにアンダーを出せなくてもいい。個々が人間として成長することができれば十分に体育会に在籍した価値はある。

価値ある自分になるために、価値を見つける目を持つためにどのような時間を過ごすのか。それが4年間の大学生活の意味であり、私自身は胸を張って「充実した4年間を過ごした。次のステージへの準備は出来た」ということができる。

最後に、ここまで支えて下さった多くの関係者の皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

連盟加盟員として、学生らしく、清潔感ある服装を心がけること。

※ 華美でないもの、きちんとした身だしなみにすること。

この規定は、合宿および指定練習日にも適用する。

## ポロシャツ

1. 襟付きシャツを着用のこと。
2. 競技においては自校のユニホームを用い、ユニホームなき場合は無地のゴルフウェアを着用のこと。
3. 襟無し半袖シャツ（ハイネックシャツ）、袖無しシャツ（ノースリーブシャツ）、着丈の短い（おへそが見える）シャツの着用は認めない。
4. 学校名を必ず付けること（胸のところ、首の後ろ、袖のところ1ヶ所以上）
5. ポロシャツの裾はズボンやスカートの中に入れること。

## アンダーウェア

1. ストレッチ素材のもので、上には半袖ポロシャツを着用のこと。
2. ストレッチ素材でないもの（長袖Tシャツ等）の着用は認めない。

## ズボン

1. 無地のもので、色は白・黒・グレー・ベージュ・紺に限る。
2. 股上の浅いもの、カーゴパンツ、ライン（前後、側面全て）の入っているものは着用禁止。
3. 男子の短パン着用は不可。
4. 女子はスカート、ハーフパンツの着用を認めるが、ひざ上10センチ以内とする。7分丈のパンツ着用は不可。

## ベルト

1. ベルトの幅は3.5センチ以内とし、華美な装飾を施しているもの、大きなバックルのついたベルトは着用不可とする。

## 防寒着

1. セーター、ベスト、ウィンドブレーカー、レインウェア等を着用する際も、その下にポロシャツを着用すること。
2. クラブハウス内ではレインウェアを着用しないこと。

## 頭 髪

1. 他人に不快感を与えるような髪型、染髪を禁ずる。

## 装飾品

1. ピアス、貴金属類のアクセサリは着用禁止。節度を守ること。

## コース来場時、移動時、式典参加時の服装

1. 学生服またはブレザー、革靴（黒または茶）を着用のこと。
2. 夏季期間中（6月～9月）は学生服またはブレザーの着用はしなくとも持参すること。
3. クラブハウス内ではジーンズ類、Tシャツ、サンダル等、ゴルフ場に相応しくない格好はしないこと。

## ミーティング時の服装

1. 自校のユニホーム、学生服、ブレザーのいずれかを着用すること。

## 着帽の徹底

1. 危険防止、日射病防止のため、プレー中は必ず帽子を被ること。
2. サンバイザー、ワークキャップは不可。  
丸帽子のキャップに限る。
3. スタート時に帽子の無い者は失格とする。

## コースに付設したロッジ、ホテルでの服装、行動

1. クラブハウス内での入浴、食事の際はジャージやスウェットの着用は自粛すること。  
（襟付きシャツを着用し、スリッパで館内を歩き回らないこと）
2. 浴室で黒髪に戻すことのないよう、事前に染髪を行ってこること。
3. 浴室で使用したタオルは、きちんと指定場所に片付けること。
4. 廊下で騒がないこと。部屋の備品を壊すことのないよう静かに過ごすこと。
5. 夜遅くの外出は控え、早めの就寝を心がけること。
6. クラブの関係者、スタッフの方へ積極的に挨拶すること。

## 練習場での行動

1. 周りの迷惑にならないよう、私語は慎み、騒がないこと。
2. 練習後は現状復帰して退場すること（ゴミ処理も忘れずに）
3. 来場、退場の際は挨拶をきちんとすること。

※ 上記の違反について、競技委員より指示があった場合はそれに従うこと。従わない場合は当該競技への参加を認めない。

※ 大会の開催コースのドレスコードは、関東学生ゴルフ連盟服装規定よりも優先する。

※ この規定は練習ラウンド（合宿等の課外活動を含む）においても適用される。

制定 平成22年3月13日

施行 平成22年4月1日

## ■ 主務・連盟委員会議

- \* 毎年、3月、4月、6月、8月、11月の年5回のほか、必要に応じ委員長が招集する。各校主将、主務および連盟委員のいずれか1名以上は必ず出席すること。
- \* 欠席する場合は必ず事前に事務所に欠席願いを提出すること。緊急の場合は事務所に連絡をし、1週間以内に事務所に欠席届を提出すること。
- \* 無断欠席の場合は始末書の提出を要する。
- \* 必要書類（競技規程など）はこの会議にて配布する。会議を欠席した場合には、配布物の郵送は行わないので、後日事務所まで受け取りに来ること。
- \* 服装は、学生服またはブレザーとする。（私服は認めない）
- \* 主将主務会議を欠席したことによる連絡漏れは、関東学生ゴルフ連盟では責任を負わない。
- \* 欠席があまりにも多い大学には、罰則を与える。罰則については、その都度、出場停止等の罰則を与える。
- \* 事務所への電話連絡や照会、および訪問などは、平日（月～金）朝10：00～夕方16：00までとする。

## ■ 提出物

- \* 期限は守ること。提出が遅れた場合は受け付けない。
- \* 主将もしくは主務または連盟委員が提出すること。
- \* 提出期限を守らない大学には、罰則を与える。

## ■ エントリー

- \* 原則として、競技会の指定練習日から2週間前を必着とし、事務所に必要書類を郵送すること（指定練習日を設けない場合はその都度連絡する）。
- \* エントリーフィーは事前に所定の銀行口座に振り込み、その振込明細書コピーをエントリー用紙に添付のうえ提出すること。原則として明細書コピーの添付がない場合はエントリーを認めない。また、現金による支払いは認めない。
- \* エントリー用紙は楷書で丁寧に記入すること。その際の学年とは学連への登録年数とする。
- \* エントリー用紙にミスがある場合および印鑑がない場合には再提出を要する。
- \* エントリー締切後の選手変更は、正当な理由がない限り認めない。ただし、エントリー締切前に限り、選手変更を認める。
- \* 登録カードの未提出、連盟加盟費未払いの者は、どちらもエントリーを認めない。

## ■ ミーティング

- \* ミーティングは必ず主将・主務が出席すること。ミーティングに正当な理由なく、遅刻、欠席した大学は始末書の提出を要する。
- \* やむを得ず主将・主務がミーティングに欠席・遅刻しなければならない時は、それぞれ代理人を立て、委任状を提出し、その旨を競技委員に報告すること。
- \* ミーティング時の服装については学生服、またはブレザーとする。
- \* ミーティング時に対戦表を提出できない場合、翌日の出場選手を全員失格とする。

## ■ 集合・アピア

- \* 開会式・閉会式には選手は全員出席すること。その際の服装については、学生服またはブレザー、自校のユニフォームとする。

- \*開会式・閉会式に遅刻した場合、始末書の提出を要する。
- \*欠席した場合は失格とする。
- \*受付は、スタート前に必ず済ませること。
- \*マッチプレーリーグ戦における選手紹介には、登録選手は全員参加のこと。
- \*アピア時に遅刻した場合の2ペナルティは、スタートホール後1ホールに加算すること。

## ■ スタート

- \*選手は、スタート10分前には埋土の入った埋土袋・スコップ・グリーンフォーク・ルールブック(2012年度版以降)を持参の上、ティインググラウンドに集合すること。集合に遅れた選手は失格とする。

## ■ スロープレー

- \*不当の遅延プレーに関しては、ゴルフ規則6-7に準ずる。

## ■ アテスト

- \*ラウンド終了後、選手はスコアカード提出箱の前に整理し、諸注意を受けてからアテストを行うこと。
- \*競技委員のOKが出るまではその場を立ち去らないこと。
- \*アテスト会場は静粛にすること。

## ■ 始末書

- \*遅刻・無断欠席・団体戦におけるアテストミス・その他常任委員に失格を指示された者は、競技会担当者に連絡の上、2週間以内に事務所に始末書を提出に来ること。
- \*始末書を提出しない場合には、当該大学に課罰(出場停止他)を課す場合がある。
- \*事務所に始末書を提出に来る際は、必ず本人の他に、主将または主務が同伴すること。同伴なき場合は受け付けない。
- \*始末書は、競技会正式名称、日時、事由ならびに、反省・事後策などを記し、主将、主務および本人の連署の上、提出しなければならない。

## ■ 欠席

- \*エントリー後、もしくはシード選手が競技会を欠席する場合は、大会3日前までに欠席願いを事務所に提出すること。
- \*急病あるいは急用のため欠席する場合には、当日スタート時間前までに、コースにいる担当連盟委員に連絡のうえ、後日、1週間以内に欠席届を提出すること。
- \*上記の行為を行わずに欠席した場合は、無断欠席とみなし、1年間の出場停止処分となり、始末書の提出を要する。
- \*学連指定の練習ラウンドにおいても同様とする。ただし、無断欠席の場合は3ヶ月間の出場停止となり、当該競技会の参加を認めない。

## ■ 出場停止

- \*関東学生ゴルフ連盟規約および競技規程に違反し、出場停止処分となった場合、処分期間に行われる競技会と、期間内にエントリー締切日にかかる競技会への出場を認めない。

### 関東学生ゴルフ選手権

○第一シード (本選出場)

1. 前年度 関東学生ゴルフ選手権 16位以内
2. 前年度 日本学生ゴルフ選手権 16位以内
3. 前年度 朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 16位以内
4. 前年度 文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦個人の部 優勝者
5. 前年度 会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権 優勝者

○第二シード (予選)

1. 前年度 関東学生ゴルフ選手権 出場者
2. 前年度 会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権 2位～5位

### 日本学生ゴルフ選手権

1. 前年度 日本学生ゴルフ選手権 5位以内
  2. 本年度 関東学生ゴルフ選手権 上位選手
- 上記1～2の合計を47名とする。

### 朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権

○第一シード (本選出場)

1. 前年度 朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 10位以内
2. 前年度 文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦個人の部 優勝者
3. 本年度 関東学生ゴルフ選手権 上位3人
4. 本年度 日本学生ゴルフ選手権 上位5人

○第二シード (予選)

1. 本年度 関東学生ゴルフ選手権 出場者

### 文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦

1. 出場人数未定のため、確定次第通達する。

## 関東女子学生ゴルフ選手権

### ○第一シード (本選出場)

1. 前年度 関東女子学生ゴルフ選手権 10位以内
2. 前年度 日本女子学生ゴルフ選手権 10位以内
3. 前年度 朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権 10位以内
4. 前年度 文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦個人の部 優勝者
5. 前年度 会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権 優勝者

### ○第二シード (予選)

1. 前年度 関東女子学生ゴルフ選手権 出場者
2. 前年度 会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権 2位～5位

## 日本女子学生ゴルフ選手権

1. 前年度 日本女子学生ゴルフ選手権 5位以内
  2. 本年度 関東女子学生ゴルフ選手権 上位選手
- 上記1～3の合計を22名とする。

## 朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権

1. 前年度 朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権 10位以内
2. 前年度 文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦個人の部 優勝者
3. 本年度 関東女子学生ゴルフ選手権 上位3人
4. 本年度 日本女子学生ゴルフ選手権 上位5人

## 全国大学ゴルフ対抗戦

春季Aブロックリーグ戦 上位5校

## 信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦

秋季Aブロック対抗戦 上位4校

## 全国女子大学ゴルフ対抗戦

春季Aブロック対抗戦 上位4校

## 信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦

秋季Aブロック対抗戦 上位4校

## 日本大学の優勝祝賀会



日本大学ゴルフ部祝賀会風景。  
壇上に勢ぞろいした現役部員たち

2014年度の信夫杯や全国大学対抗戦などに優勝した日本大学保健体育審議会ゴルフ部の優勝祝賀会が2月7日、東京都内のホテルで行われた。優勝祝賀会には同校の田中理事長、牧村ゴルフ部部長、和田光司監督を始め日本学生ゴルフ連盟から中島敬夫会長、同校OBのみなさん、男女部員ら多数が出席して、昨シーズンのゴルフ部の健闘を称えた。

昨シーズンの日本大学ゴルフ部の男子は第57回の信夫杯（11月1日、千葉CC梅郷コース）で14年ぶり、通算33回目の優勝を遂げ、夏の第50回全国大学対抗戦にも勝った。関東大学春、秋季Aブロック対抗戦ではそれぞれ2位、個人戦では関東学生選手権で山本太郎君が優勝して日大勢は3年連続で関東学生の王座を占めた。

一方、女子は第14回信夫杯で2位、Aブロックの対抗戦では春、秋それぞれ3位という健闘があったほか、地域ごとに行われているアマチュア選手権での活躍が目立った。

## 法政大学の新年会

法政大学体育会ゴルフ部の法友会（OB会）が主催する今年度の新年会が1月25日、東京・青山のホテルで橋本設夫会長以下、OBを含む現役150人が参加して開かれた。

席上、昨シーズンまで主将を務めた男子の矢代直仁君と女子の冨澤真理子さんの功績を称えてOB会は両君に記念品を贈った。引き続き男女の新主将が紹介されて、それぞれが今季の抱負を述べた後、男女の新部員12人が紹介された。

法政大学ゴルフ部の男子は昨シーズン、関東大学秋季Bブロック対抗戦（軽井沢72）で優勝し、新しいシーズンはAブロックに入る。女子は秋季Aブロック対抗戦（富士CC）で6位になり、今季は同Bブロックで戦う。



法政大学ゴルフ部新年会。  
壇上に並んだ新勢力

2014.01

# 編集 後記

- 日本学生ゴルフ連盟  
加盟校 160校  
創立 昭和31年3月19日
- 関東学生ゴルフ連盟  
加盟校 68校  
創立 昭和10年2月2日  
(2013年9月現在)

K S G A 9 5号が刷り上がりました。早速、お手元に届けさせていただきます。今号は関東学生ゴルフ連盟の新役員の紹介と本年度の競技日程、服装規定などを取り上げました。

従来の巻頭言に代わり、委員長が加盟各校、加盟員にホットなメッセージを送ります。委員長は『連盟の運営、競技会の準備などはともすれば人任せの流れは否めませんでしたので、本年は学生の連盟であることから、率先して学生が自発的に動こう』と訴えています。自分たちの連盟だから、自分たちの手で動かすのは当然です。

シーズンの幕開けは、歴史と伝統を誇る東京ゴルフ倶楽部で春季Aブロックのリーグ戦が行われます。昨年まではC、Dブロックの対抗戦の会場になっていましたが、本年のリーグ戦は5月のゴールデンウィークの最中の開催になります。

老舗倶楽部の親心に感謝しましょう。東京ゴルフ倶楽部は昨年12月に創立100周年を迎えました。日本のゴルフの原点といえるゴルフ倶楽部です。会員の方々から学生に開放してよかった、と評価をいただけるような言動で臨みたいものです。

本号には加盟校便りのコーナーを設けています。加盟校の部の行事、人事、動向をアピールできる欄です。そのような情報を提供願えればK S G A編集子がペンとカメラで取材に向かいます。

いよいよ本格的なシーズンです。加盟各校の健闘と部員みなさんの活躍を祈念しています。

(K S G A編集子)

## ◎訂正とお詫び

K S G A 9 4号の競技レポートに掲載した記録と写真に誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

33ページのFブロック対抗戦8位は東京農業大学とありましたが正しくは千葉工業大学でした。38ページのBブロック最優秀選手表彰写真を取り違えて別人のものを掲載しましたので、これを取り消し、お詫びします。

関東学生ゴルフ連盟  
機関誌  
2014/Vol.95

平成26年4月30日発行  
(年3回発行)

発行人 中島 敬夫

編集人 森田 健斗

発行 関東学生ゴルフ連盟

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-9-3

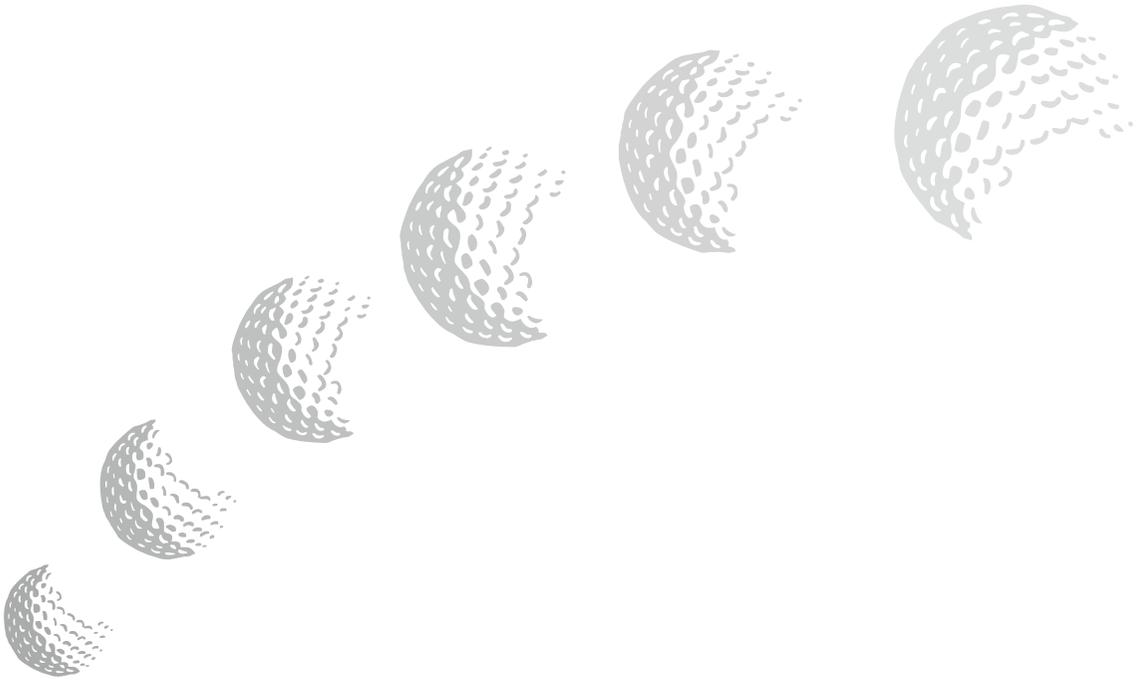
チヨダビル4階

電話 03-3263-4377

FAX 03-3263-4590

編集 関東学生ゴルフ連盟広報局

D T P コア・プリンテック株式会社



## 広報局からのお知らせとお願い

- 関東学生ゴルフ連盟公式ホームページは下記アドレスでご覧いただけます。  
内容は競技日程、競技結果、連盟のプロフィール、お知らせなどです。

**<http://www.ksga.jp/>**

- この機関誌に関するご意見、ご感想、ご質問などなんでも結構です。  
広報局までお寄せください。
- 広報局からのお知らせですが、機関誌をお受け取りになる方のお届け先が変更になった場合、すみやかに関東学生ゴルフ連盟の事務局にお知らせください。

**TEL. 03 - 3263 - 4377**

**FAX. 03 - 3263 - 4590**

**mail : info@ksga.jp**



アダム・スコット



ザック・ジョンソン



ヘンリック・ステンソン



リー・ウエストウッド



川村 昌弘



ジョーダン・スピース



PERFORMANCE IS

世界が信頼する性能すべてを。EVERYWHERE.

PRECISION.  
TRUST.

PROVEN.  
CONSISTENCY.



ジェイソン・ダブナー



丸山 大輔



スティーブ・ストリッカー



ルーク・ドナルド



ウェブ・シン普森



藤田 寛之



イアン・ポルター



谷口 徹



松村 道央



ビル・ハース

## 世界使用率 No.1

2014 世界ツアー使用数

*Titleist*

4,008

2位メーカー

631

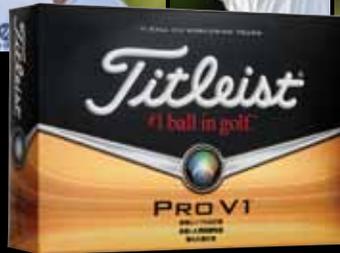
2014 世界ツアー勝利数

*Titleist*

29

2位メーカー

6



タイトリスト プロV1・プロV1x

*Titleist*  
#1 ball in golf.®

Join Team Titleist at [titleist.co.jp](http://titleist.co.jp)

※上記の記録は、ダレル・サーベイ社調べです。ボール使用数、勝利数は延べ数です。(2014年3月16日現在)  
※世界ツアー-日本、U.S.PGA、U.S.LPGA、チャンピオンズ、Web.com、南アフリカ、アジア、韓国、ワナアジア、オーストラリア(ニュージーランド)、カナダ、欧州男子の各プロツアー

アクシネット ジャパン インク(タイトリスト)  
[www.titleist.co.jp](http://www.titleist.co.jp)





関東学生ゴルフ連盟